

若者の出迎えに

お年寄りニッコリ (大内敬老会)



九月十日大内小で行われた大内地区敬老会で、会場にいらっしゃるお年寄りたちを Outcome 迎へ、リボンをつける若者たちの姿が目につきました。この若者たちは、今年成人式を迎えた「青年仲間づくり」のみなさんで、地域活動にも何か役立つことはない

かと考え、行動する青年たちです。会場の準備、弁当の配布など、会の裏方をひきうけ、きびきびと、かいがいしくお世話する青年たちの姿に、お年寄りたちもニッコリ。大内では、成人式を迎えた青年たちの恒例行事です。

市報は、家族でまわし読みをし、とじて保存しましょう。

10月1日から

共同募金
みんなで赤い羽根を

昔、スイスの山村で、牧師が道端に木箱をとりつけ、「与えよ、とれよ」と書いたところ、あるものは金を入れ、あるものは引きだしたといわれます。これが四方にひろがり、現在の共同募金となったといわれます。

募金は十月一日から三か月続き、市の共同募金目標は、七百八十一万余円です。

寄せられた善意は、福祉活動です。すめている民間の団体や施設、めぐまれない人びとに届けられ、地域社会の福祉に役立っています。

第二十一回

市美術展覧会

市民会館

日時 十月十四日～十七日、午前十時から午後六時まで。十七日は正午まで。

場所 市民会館小ホール
なお、作品の搬入は、十一日。

市議会(定例会)の結果

九月十三日開会された昭和五十三年第六回市議会定例会は、初日提案された昭和五十三年度一般会計補正予算、昭和五十三年度と番場、下水道、特別林野特別会計の補正予算、教育委員の選任について議会の同意を求める議案など九議案を原案通り可決して二十七日に終わりました。

なお、堀市長は、市議会の初日、別稿のように、市政概況報告をしました。

第一一般会計予算
 二億七千万円余追加
 昭和五十三年度一般会計補正予算に、二億七千二百九十余万円を追加し、予算総額は百四十七億二千二百六十余万円となりました。

歳出予算の主なもの、仁保・小鯖出張所のサイレン移設工事費(五百九十余万円)、母子家庭への医療費助成(二百三十余万円)、児童遊園整備費など(四百三十余万円)、水田利用再編対策事業費(二千三百二十

余万円)、単市の土地改良事業補助金の追加(一千九百四十万)、千ばつ応急対策費(三千七十万)、新構造改善事業として、名田島の調査設計委託料(四百五十万円)、同対策事業として地区環境整備費(八千五百五十余万円)、仁保消防車庫の移設費(三百七十余万円)、六月発生の耕地災害復旧費(二千八百三十余万円)などです。

なお、この財源は、地方交付税四千七百三十余万円と繰越金一千七百八十余万円が一般財源。特定財源で国・県支出金八千七百四十

余万円、市債九千四百四十万円です。

教育委員会
 岡本利男・鈴木スミ子氏
 本貞哲彦山口市教育委員が八月十七日付で退任、渡辺敏雄教育委員の任期が十月六日で満了します。その後任として岡本利男氏(66・仁保・仁保公民館長)、鈴木スミ子氏(55・中央三丁目・市社会教育委員)を任命することについて議会の同意を得ました。

鈴木委員は、二十八日に発令、岡本委員は十月七日発令の予定です。

十月一日から 母子家庭に 医療費の助成

市では十月一日から、母子家庭の保健の向上と生活の安定のため、母子家庭の医療費助成制度を始めます。

母子家庭には、所得保障の一環として、母子年金、児童扶養手当などが支給されていますが、その生活基盤は不安定な人も多く、特に医療費が多額にかかった場合など、生活がおびやかされます。

このため、医療費の自己負担分を市で助成しようというものです。

助成の対象となる人は、中学生以下の児童を養育している配偶者のいない女子、またはこれと同じ状態にある女子とその児童および父母のいない児童、またはこれと同じ状態にある児童が該当になります。

しかし、市民税の所得割が課税されている世帯に属する人や他の制度によって医療費の助成を受けている人、被用者保険の本人、医療保険に加入していない人などは対象になりません。

対象となる人は、健康保険証と印鑑をもって、保険年金課または出張所へ申請をし、福祉医療費受給者証の交付を受ける必要があります。

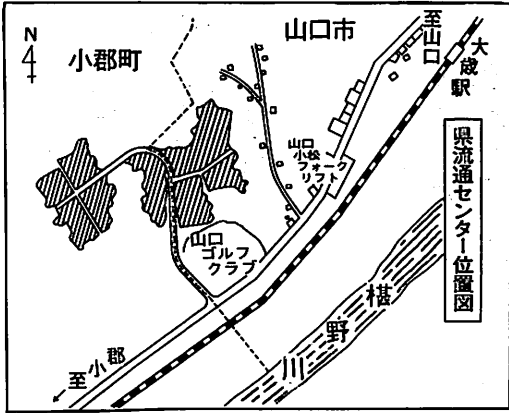
この受給者証を受診するとき医療機関に提示すれば、自己負担分が無料になる仕組みです。市では市内で約五百人が受給資格があるとみています。

この制度の不明な点やくわしいことは、市役所保険年金課が取扱いますので、おたずねください。

選挙人名簿登録者
 七万七千五百五十八人

流通センター本決まり

堀市長 市政概況報告



流通センター位置図

図普通交付税
 昭和五十三年度の普通交付税は、十六億五千三百三十三円と決定しました。

これは前年に比べ、五億六千七百余万円の増で、五十二・三割の伸びとなります。

この増額は、かねてより主張してまいりました十万都市の交付税が低位にあることで、この手直しが行われた結果によるものです。

山口市・小郡町にまたがる流通センターの位置

図県流通センター

かねて報告のとおり、県流通センターについては、その後地域振興整備公団および県と接衝の結果、八月二十四日付で、本事業の通商産業大臣の承認を得たものです。

この流通センターは、中国自動車道などの高速交通体系の接点であり、また地理的にも県の中央部でもある大蔵朝田地区・小郡町仁保津地区にまたがる地域に、総面積約四十八公畝を造成し、利用面積約二十八公畝にトラックターミナルのほか、区域トラック施設、冷凍、冷蔵庫を含む倉庫や集配施設を設け、物資流通の広域的な拠点にしようとするものです。

昭和五十七年度供用開始をめ

図千ばつ

異常千ばつに対処するため、さる六月一日、市に千ばつ対策推進協議会を設置し、千ばつに対し、指導または施設に対する補助要綱等を定め、農作物の被害を最少限に止めるよう努めてきました。

なお、現在まで水源確保のため、井戸掘、打込み、揚水機具の購入など百十件、約三千八百万円が実施されており、これに対し補助要綱にもつぎ助成します。

分が無料になる仕組みです。市では市内で約五百人が受給資格があるとみています。

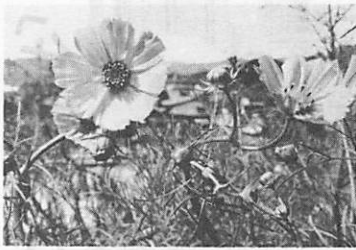
この制度の不明な点やくわしいことは、市役所保険年金課が取扱いますので、おたずねください。

選挙人名簿登録者
 七万七千五百五十八人

児童手当の支払い

十月期
 昭和五十三年十月期(六月から九月まで)の児童手当は、十月十五日までに受給者の指定された口座に振り込みます。

なお、振り込み通知はしませんので、自分の口座で確かめてください。



秋風にゆれるコスモスの花

10月は、秋色がいよいよ深まり、一年で一番の好季節です。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋などという言葉に象徴されるように、自分の内容を深めるにふさわしい月です。燈火に良書をひもとく静かな夜も、もちたいものです。

—10月のこよみ—

■赤い羽根共同募金運動 1日からはじめられます。この運動は、社会人としての自覚に基づいて、社会全体が有機的に共同して行う募金活動により、明るい住みよい町づくりと、不幸な人たちのために役立てることをその目的としています。

■目の愛護デー 10日、近視や偽近視の原因は、生活環境にあるといわれます。テレビの普及にともない、光線に対する注意も必要でしょう。目にふれやすい手をよく洗い、清潔にすることも大切です。子どもの机、椅子の高さにも気をつけてやりましょう。

■体育の日 10日、国民全体が進んでスポーツに親しむようにと定められた国民の祝日です。市でも種々の体育行事が計画されています。ふるって参加してください。

■読書週間 27日からはじまり、文化の日を中心として二週間です。日常忙しさに追われている人も、秋の夜長をチャンスに、読書への関心を深めたいものです。

市が今年六月一日現在で調べた六十五歳以上の山口市の人口は、一万二千二百六十八人で、全人口に占める割合は、十一・二八割を占めていることがわかりました。

老令人口(65才以上) 12,268人



福祉センターで行われている非句教室。一生を通じて趣味を持つことも、余生の楽しみ、の一つといわれます。

「老令化社会、真近か」

より、若干低くなっているものの全国(七・九割)の比較では、かなり高くなっています。また、今年の五月一日現在で二十三人、老夫婦だけなどの「準独居老人」が四十九人、「昼間ひとりぼっち老人」は六十三人となっています。

お年寄りの全人口構成比は、昭和六十年には確実に十二割をこえるといわれ、「高令化社会」はもう真近かです。これらの数字は、お年寄り自身も、余生を社会と協調しながら如何に楽しく過ごすか、社会全体もお年寄りに楽しく過ごしてもらうため、今からどんな準備をしなければならないかを示しているといえそうです。

十月五日から

市営バス 時刻改正

十月五日から、山口市営バスでは全線の時刻を改正します。時刻改正にともない、宮野―小郡間に直通便(小郡駅表口行き、宮野・奥湯田温泉行き各一便)を運行します。なお、同便の湯田温泉―小郡駅表口間は、準急便となります。また、吉敷線の現行中尾終点午前七時四十分下東経由県庁行きが、西光寺経由(時刻も改正)になります。

大掃除に、溝さらえ

山口市では、十月を「秋季清掃強調月間」とします。気持ちよい生活環境をつくるために、市民みんなで力を合わせて清掃をしようというものです。

天気の良い日に家屋内外の大掃除と家庭污水で汚れた排水溝の溝さらえを町内などで実施しましょう。

また、夏場にのびた雑草も害虫の住み家とならないよう期間中に刈り取りましょう。下水溝などのどろ上げをしたものは、市で処理をしますから、町内の代表者は、市役所衛生課または、出張所へ事前に連絡してください。

防犯 秋 清掃

運動旬月間

十月十一日から二十日まで、全国防犯運動旬間です。全国的に空き巣、自転車盗が増加しており、山口警察署管内でも、八月末まで空き巣七十一件、自転車盗は何と二百十三件も発生しています。

これらを防ぐには何といってもカギかけの励行で、カギをかけないで被害にあつては「カギかけの手間一・二秒を惜しむな」です。

県警察では運動を盛り上げるため、十月十四日午後六時三十分から、県体育館で「防犯の夕べ」を催し、中国管内警察音楽隊合同演奏会を行います。

カギかけ励行一・二秒

「体育の日」特集



「おはよう、サイクリング」が今年も8月末から始まりました。毎日曜日早朝ペダルを踏んで健康づくりをするもので、10月29日まで市民が史跡探訪やスピードジャッジなどを楽しめます。(写真は9月9日、市民会館前で)

スイスイ走る おはようサイクリング

川石根

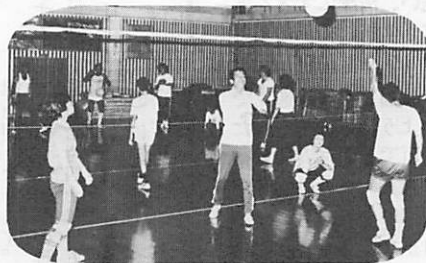


県庁から伊勢橋の方へ下ると右手に日本風の大きな建物があります。これは現在「山口県警察体育館」となっていますが、由緒のある建物です。この建物は、昭和五年十一月に、大日本武徳会山口支部の武徳殿として造られたものです。材料はすべて台湾檜が使用され純日本風の豪壮な建物です。面積は延千八十一平方尺、床は板敷で、半分が剣道場、半分には畳を敷いて柔道場となっています。県警察体育館の外観。五十年の風雪にもゆるぎもなく、付近では異色の建物です。

佐山小路バレーボール愛好会

会の結成は昭和四十九年十一月。市内のママさんバレーボール大会で惨敗したのがきっかけでした。現在、最高令者五十五歳から中学生まで、男女六十人がメンバー。「小路部落は戸数八十戸、会員が六十人だから夫婦、親子の会員も多い」と会の代表者福島義邦さん。(40・商業) 毎週土曜 日午後八時から十時まで、部落内にある佐山小学校の体育館を借りて練習します。いつも集まるのは三十人位。同部落の佐々野圭司さん(43・宇部市役所)の指導で基礎練習の後は、部落を三つに分けての「親善試合」をするのが通例で

つどい



子どもまじる愛好会の練習 (9月16日写す)

す。この会を母体に出場した佐山バレーボールチームは、九月三日行われた市民体育大会Bブロックで見事初優勝をかざりま

点が輪となる

昭和五十年が二十一ポイントで一ケタ得点で負け、五十一年が二ケタにのび、着々と技も体力も向上してきました。「バレーボールを始めた時、球を追うのに三十、四十歳代は

一歩しか動けませんでした。それが、今は確実にだれも三歩は動く」とは佐々野さんの話です。こうして、親とバレーを楽しんだ子どもは、中学校でバレー部に入部、バレー名門高校のプレイヤーになった人もいます。また、徐々に地区内にひろがりをみせたバレーボールは、九人制はもとより、六人制の地区内大会も開かれるようになりました。

「新しいお嫁さん、地区内のおひろめはバレーボールで、OKです。また、お父ちゃんたちも、早く帰ってくるようになりました。」とは婦人会員の話。小路部落に「点」となって発生したバレーボールは「輪」となってひろがりを見せています。

した。時あたかも日本精神高揚の時代とあつて、神聖な場所として使用されていきました。



剣道のメッカ 県警察体育館

終戦後は一時、進駐軍に接収され、ダンスホールなどに使用されていたこともありましたが、その後返還され、県有財産となり、昭和三十年に山口県警察体育館となり、今におよんでいます。現在は警察の剣道場として使用されていますが、週二回山口スポーツ少年団の剣道部の練習場となっているほか、県庁の剣道部や少林寺拳法グループの練習場などにも利用されています。また県下の剣道大会には最適の会場となっています。

10月10日 市民スポーツデー

十月十日の体育の日、次の催しが行われます。時間はいずれも午前十時から午後三時までです。家族や仲間を誘って多数ご参加ください。

軟式・硬式
庭球

維新記念公園庭球コート。用具持参でゲームをどうぞ。初心者指導もします。

軟式
野球

市民球場と県設球場で野球連盟未登録グループの親睦試合。十月七日まで市教委体育課へ申し込む。

ソフト
ボール

維新記念公園運動広場でソフトボール協会未登録グループの親睦試合。十月七日まで市教委体育課へ申し込む。

体力テスト
・健康
相談

維新記念公園陸上競技場。小・中・高・青年はスポーツテスト、一般、壮年は体力テスト。時間は午前

(5)

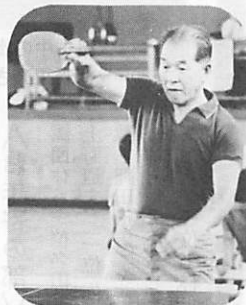
われら



スポーツでマナーを学べ

国重松雄体育協会会長

剣術がなくなり、当時の々社
会体育で卓球を始めた。
以来今日まで、卓球一筋、
「卓球がうちの人生」と自
信を持って話されます。
印象深いことは、子息博さ
んとの親子卓球二人三脚。こ
のコンビは、中学、高校と県
文部大臣表彰を受けました。
「私の気がいい卓球人生三
十年の中で得たものは、スポ
ーツを通じ、社会的マナーを
身につけることの必要性で
す。スポーツでは飯をくえな
い、そこで身につけた健康な
体とマナーを社会生活で生か



競技中の国重さん、現役、バリバリです。

国重松雄さん、六十七歳、
堅小路、会社員。今年四月か
ら加盟団体四十を数える山口
市体育協会の会長です。
会長というより「卓球の国
重さん」で市民にはなじみが
深い。まだまだ、昨年まで市
民体育大会の大殿地区の花形
選手、今夏も県大会に出場す
るほどの現役です。
とても六十七歳とは思えな
い、みるからに壮健そうで
す。「医者から体は四十歳代
といわれ、これも卓球のおか
げ」と話されます。
卓球とのかかわりは、昭和
二十一年、三十三歳の時。銃
剣術初段だったが、終戦で銃

下一位になり、国体で父が監
督、子が選手という時代が続
いた。「楽しかった」、「う
れしかった」と話されます。
自宅には父子の過去の栄光
を示す賞状、優勝杯がずらり
とならんでいます。特に昭和
四十七年には県選奨、五十一
年には社会体育功労者として
すことです。」と熱っぽく話
されます。「これから体育協
会としても生活体育をもっと
さかんにしていきたい。それ
には施設も充実しないといけ
ません。七十年代は指揮官が
先頭に立つ時代、行動する会
長として、頑張っていきま
す。」……と。

質問に答えます

問 南部の体育施設の拡充構想
南部地域は社会体育施設
が不足していますが、体育

答 近年、特に健康、体力づ
くりと地域のコミュニテ
ィづくりは体育、スポーツ活動
で社会体育が普及発展してお

施設拡充の計画・構想があれば
教えてください。
嘉川 若崎紀子

無料開放！ 十月十日は、古熊にある市営市民柔剣道場、吉敷維新百年記念公園内の県野外体力づくりコースは無料開放されます。

名もないう。ラ。ジ。オ。体。操。会。

一昨年夏、天花子ども会の
夏休みラジオ体操につきあつ
ていたお母さんたちが、夏休
みが終わってから四〜五人で
野田神社で続けているのがこ
の集いです。代表者
もなければ、会の名
称もありません。
現在、参加者は大
人十人、子ども十
人。毎朝今八幡宮ま
で走っていた四人の
他町内の人も加わってのラジ
オ体操。最初からの参加者
は、岡節子さん(主婦)、木
原睦子さん(主婦)、「早起
き体操は、健康にもよく、自
然の移り変わりを敏感に感じ
る」とはお二人の感想です。
まさに、自然に発生し、ご
く自然に続いているまちの小
さな小さなラジオ体操会、体
操を終わると境内の清掃も日
課となっています。

体力づくり 話題2

大都市ではたいへ
ん盛んという少年野
球チームが、今年六
月に市内で誕生しま
した。
宮野野球スポーツ
少年団(団長齋藤竜
也・団員六十八人)
がそれ。もちろん市内初
の少年野球チームです。毎週
日曜日午前九時から宮野野
球クラブのお兄さんたちの指導
で練習に励んでいます。

市内初の少年野球チーム

結成後、三か月、月二回の
練習が毎週一回に、午前十
一時までがしばしば正午まで
に、少年たちの熱意にほださ
れ、次第に練習もエスカレ
ートしてきました。
「休むことはできません」
とは指導者の一人若崎寛さん
(45・公務員)。まだ結成後
日が浅く、基礎練習中心です
が、少年たちの大好きな野
球、練習熱心で、これからは
楽しみです。

館を中心に学校体育施設開放の
ため、組織づくりをいたしてお
ります。
また、今年度は、南部(川
西・川東)地区二か所に学校体
育施設屋外運動場に夜間照明施
設を設備し、地域住民に活用し
ていただくようにします。

このように、各種の施設を
整備充実するとともに、年次
的に体育施設の建設を計り、
皆さんの健康と体力づくりに
お役に立ちたいと思ってお
ります。(体育課)

10月10日 市民スポーツデー

十時から正午まで。
走るう会
(記録会)
維新記念公園陸上競技
場。二・三・五・コー
ス。時間は午後一時から。

バドミン
トン
県立体育館。用具持参で
ゲームをどうぞ。なお、初
心者指導もします。

卓球
県立体育館。用具持参で
ゲームをどうぞ。なお、初
心者指導もします。

レクリエ
ーション
大会
維新記念公園ラグビー
場。対象は市スポーツ少年
団員。すもう大会、騎馬戦、
綱引き、宝さがしなど。

歩け歩け
大会
吉敷の里を訪ねる。午前
十時から、昼食持参、歩
く運動参加ワッペン配布。

名田島(お年)、嘉川(お母)優勝

九月十二日、県立体育館で、「お母さんとお年寄りの自転車コンテスト大会」が行われました。

これは、お年寄りやお母さんたちに自転車の正しい乗り方を覚えてもらい、交通安全に役立てようと毎年開かれているもので、今年で七回目。市内各地区



競技中の出場者の最高令者 徳光正亮さん(80・平川)

「お母さんの部」

- 団体 一位嘉川(菅恵美子・山本富枝) 二位大殿(池田道子・倉増逸子) 三位陶(福島朝子・竹川孝江)
- 個人 一位長谷芳子(陶) 二位山本富枝(嘉川) 三位田中昭子(名田島)

「お年寄りの部」

- 団体 一位名田島(松崎保・上野道夫) 二位佐山(小林正数・縄田正男) 三位嘉川(遠藤義雄・藤村啓助)
- 個人 一位小林正数(佐山)

から二人一組でお母さんチーム十七、お年寄りチーム十四が体育館内に設置された交差点あり、踏切りありの約百五十メートルコースで正しい乗り方を競いました。

競技審査は、山口、小郡警察署の交通警察官があたり、次のとおり団体、個人の入賞者が決まりました。

二位松崎保(名田島) 三位遠藤義雄(嘉川)

「ご存知ですか
行政相談制度」

行政監察局(相談所)をご存知ですか。この官庁は役所や公社などの仕事で、「説明がまちがっている」といった市民の苦情や要望をきき、その解決や実現のお手伝いをするところです。

市内には、山口行政監察局(中河原町六一六)があり、行政相談委員として、山田直樹(天花・電〇一四五五)、福永義人(秋穂二島・秋穂局二三二)がおられます。

来る十月十五日から一週間は行政相談週間です。制度をよく知っていただき、苦情・意見があるときは活用していただき、この趣旨を徹底させようというものです。

申し出は、秘密は厳守、無料ですので、お気軽にご相談ください。

日時 十月二十九日午前九時 市民会館前出発

コース 岸見の岩風呂一出

雲神社一島

地八幡宮一

月輪寺一八

坂見社一

佐波川関

水一 大原湖

会費 大人二千二百円、子ども千五百円

募集人員 九十人

重源上人

史跡めぐり(徳地町)

講師 郷土史家内田伸

主催 山口文化バスの会

申し込み 葉書または電話で十月二十日までに、葵二丁目市交通局山口文化バスの会事務局(電〇二二五五)へ。

昼食は必ず持参のこと。

■気象教室

対象 小学四年以上四十人

日時 十月十四日午後三時から、十五日午前十時から

講師 山口測候所大谷重治

■無線教室

対象 小学五年以上五十人

日時 十月十四日、二十一日、十一月四日、十一日、いずれも午後七時から

講師 横田博

■天文教室

対象 小学五年以上五十人

日時 十月十四日、二十一日、十一月四日、十一日、いずれも午後七時から

講師 横田博

■気象・天文・無線教室

場所はいずれも湯田温泉五丁目市児童文化センター。会費は無料。

申し込みは、児童文化センター(電二四二八五)へ。定員になり次第締切り。

■文化バス

日時 十月二十九日午前九時 市民会館前出発

コース 岸見の岩風呂一出

雲神社一島

地八幡宮一

月輪寺一八

坂見社一

佐波川関

水一 大原湖

会費 大人二千二百円、子ども千五百円

募集人員 九十人

重源上人

史跡めぐり(徳地町)

講師 郷土史家内田伸

主催 山口文化バスの会

申し込み 葉書または電話で十月二十日までに、葵二丁目市交通局山口文化バスの会事務局(電〇二二五五)へ。

昼食は必ず持参のこと。



10月5日

育児と幼児教育 相談会が開かれます

お子さんの育児のことでお困りになっていることはありませんか、また、幼児に関する勉強をもっとしたい人はいませんか。

そんな人のため、心理、保育、医学など専門の先生による巡回教育相談会が次のとおり開かれます。

日時 十月五日午前九時三十分から午後三時まで

場所 市民会館小ホール

日程 午前中グループ相談、午後映画・全体学習と個別相談

相談委員(教育) 真田元祐 山口大学教育学部教授

(保育) 脇運雄 防府市松

崎幼稚園長(医学) 佐々井 静代 山口大学医学部助手

(栄養) 北川 雪恵 山口大学教育学部教授

(保健) 衛生 古谷 イマ子 山口保健所保健婦係長

相談は無料、託児室も準備されます。くわしくは市教委社会教育課へ。

交通法令

講習会を開きます

山口交通安全協会では、次のとおり交通法令講習会を開きます。場所はいずれも小学校、開会時間は午後7時からです。

▷白石10月7日 ▷湯田9日 ▷大内12日 ▷大殿17日 ▷宮野19日 ▷仁保21日 ▷吉敷25日 ▷平川28日 ▷小鯖11月2日 ▷大歳4日

旧軽・三輪免許所持者へ
限定解除の審査を受けましょう

旧軽免許や旧三輪免許には、運転できる自動車に制限がありますが、技能審査や自動車学校で規定の教習を受ければ、自動車の限定が解除されます。

早く限定解除の審査を受けましょう。

県運転免許試験場では、毎週火曜日(祝日を除く)に限定解除の審査を行っています。

審査の手引きは、警察署にあり、無料で配布されています。

自動車学校での教習も最低6時限から最低4時限に短縮されています。

なお、審査についての詳しいことは最寄りの警察署または、自動車学校へ。

(7)

昭和五十三年度後期技能検定

受験受付は、十月十一日～二十日、詳細は滝町一―一県技能検定協会☎二一八六四六へ



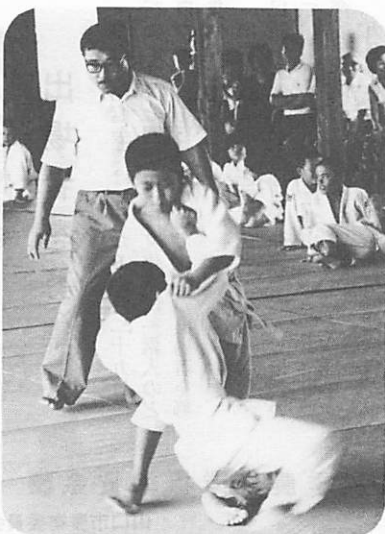
▲手先のこまやかな作品そろそろ

9月14日市民会館で開かれた市老人福祉大会、ロビーでは、作品即売会が開かれ、手芸品、盆栽など手先のこまやかな老人の作品が約800点。人気があってほとんど売れました。



▲好意を全身にうけて……

県鍼灸マッサージ師会湯田支部(支部長小野正二)では、9月20日会員22人が寿泉荘で、お年寄り100人にマッサージの奉仕をしました。お年寄りたちは身を横たえて、その「好意」を全身に受けました。



▲汗ダクの少年柔道大会

8月29日、県柔道会館で市スポーツ少年団柔道大会が行われました。小学生39人が汗ダクになって、足技、寝技を連発、応援にきた父兄らの前で元気なところを見せました。



▲豊年を祈願し、腰輪踊り奉納

陶八雲神社の神事で、420年前から伝えられる県指定無形文化財腰輪踊りが8月28日同神社で奉納されました。

子ども12人、大人3人が御幣をさげた竹の輪を腰に、輪をつくって踊る素朴な踊り、豊年を祈願するものです。

▼汗と健康、1周年を祝う一福寿園

老人ホーム福寿園のお年寄りは、9月8日木戸公園で健康づくり1周年を祝いました。「健康こそ余生の楽しみの泉」と揃いのトレーニング・ジャージを新調、毎日の健康体操などに取り組んだもので、クロッキーを楽しんだあと、おむすびと雑魚料理の食事をおいしくいただきました。



同和問題を考える

社会同和教育資料

「みんなでとりくむために」

この学習結果が親の誤った同和問題に対する考え方からこわされるようなことがあつてはいけません。
例えば「おかあさん、同和問題とはどんなこと」「部落問題とはどんなこと」など質問されて、答えることができなかつたり、「そんなこと聞くんじゃないよ」とうらばいすることがあつてはなりません。
この資料が生かされ、地域ぐるみの推進体制をつくり、学校・社会・家庭での教育活動が一体となつて、この問題の解決への見通しをもつた同和教育実践が行われることを願うものです。

この資料は、保護者の同和問題への認識を高め、学校と家庭が一体となつて同和教育を推進するための研修に役立たせようとするものです。
従つて、各学校においては、保護者の学校同和教育への理解と協力を得るため、研修が計画されて、効果的な資料の活用が図られるものと思われれます。
子どもは学校で同和問題の学習をしています。教科書には、同和問題関係事項が記述され、学習を深めています。
同和問題に対する考え方からこわされるようなことがあつてはいけません。
例えば「おかあさん、同和問題とはどんなこと」「部落問題とはどんなこと」など質問されて、答えることができなかつたり、「そんなこと聞くんじゃないよ」とうらばいすることがあつてはなりません。
この資料が生かされ、地域ぐるみの推進体制をつくり、学校・社会・家庭での教育活動が一体となつて、この問題の解決への見通しをもつた同和教育実践が行われることを願うものです。

山口県教育委員会から、社会同和教育資料「みんなで取りくむために」(保護者研修用)が、小学校六年生と中学校二年生の保護者を対象に配布されます。
この資料は、保護者の同和問題への認識を高め、学校と家庭が一体となつて同和教育を推進するための研修に役立たせようとするものです。
従つて、各学校においては、保護者の学校同和教育への理解と協力を得るため、研修が計画されて、効果的な資料の活用が図られるものと思われれます。
子どもは学校で同和問題の学習をしています。教科書には、同和問題関係事項が記述され、学習を深めています。
同和問題に対する考え方からこわされるようなことがあつてはいけません。
例えば「おかあさん、同和問題とはどんなこと」「部落問題とはどんなこと」など質問されて、答えることができなかつたり、「そんなこと聞くんじゃないよ」とうらばいすることがあつてはなりません。
この資料が生かされ、地域ぐるみの推進体制をつくり、学校・社会・家庭での教育活動が一体となつて、この問題の解決への見通しをもつた同和教育実践が行われることを願うものです。

不燃物の収集日

出張所地区

- 10月 平川12日、小鯖16日、大内17日 吉敷19日、大歳23日、仁保25日、宮野26日
11月 嘉川1日、陶、鑄銭司2日、佐山4日、名田島、秋穂二島6日

県営住宅あき家入居予定者募集

山口市にある県営住宅について「あき家が生まれた場合の入居予定者」を募集、次のとおり受付けます。
住宅の所在 赤妻、御堀、平川など
申し込み 10月12日から14日、山口市土木事務所(電01070)へ

秋の狂犬病予防注射

注射料 800円、登録料 300円
10月20日以降の日程は次号で。

Table with columns: 月日, 地区, 場所, 時間. Lists collection dates and times for various districts like 鑄銭司, 陶, 大歳, etc.



バンドをバックに歌って見ませんか、写真は昨年のも市民文化祭

山口文化協会では、きたる十月二十九日に行われる第七回山口市市民文化祭に「素人のど自慢大会」を行いますので、その出場者を募集しています。
出場希望者は、住所・氏名・年齢・職業・民謡・歌謡曲など種目と曲名をハガキに書いて、十月十五日までに亀山町二一山口市教育委員会内山口文化協会事務局へ。

素人のど自慢大会 出場者を募集

秋季農作業標準賃金

山口市農業委員会

Table with columns: 作業種別, 単位, 賃金, 付記. Lists agricultural work rates for tasks like rice cutting, weeding, etc.

(注) 上記金額は標準賃金ですから、各地域の土地の条件、労働時間等の特殊事情によって適宜補正してください。なお、上記の金額には食糧費は含まれません。

映写会一県視聴覚センター

- 日時 10月7日午後1時から
会場 県立図書館内視聴覚センター
プログラム デザインの基礎、風景をかく、日本のやきもの、民芸の旅(山陽編)
入場料 無料

山口県美術展覧会

- 会期 10月12日から27日まで
会場 県立山口博物館
部門 日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、デザイン
作品の搬入は、10月1日から3日まで。問い合わせは、山口市春日町8-2 県立山口博物館(電0294)へ

簿記検定試験

- 日時 11月5日午前9時から
場所 山口高校
受験資格 制限なし
受験手続き 10月12日までに山口商工会議所所定の申し込み書に必要事項を記入し、所定の受験料をそえて山口商工会議所(電02300)へ

危険物取扱者試験

- 日時 11月17日午前10時から
願書提出期限 10月21日まで
くわしくは、市消防本部予防課(電01470)へ

和服着付教室受講生募集一婦人会館

- 期間 11月から翌年4月まで
人員 20人
受講料 月額1,000円
申し込み、問い合わせは、10月20日までに県婦人会館(電02792)へ

住宅金融公庫の個人住宅建設資金融資希望者募集(第2回)

- 個人住宅建設資金 受け付けは10月12日まで
住宅改良資金 受け付けは昭和54年1月31日まで、融資限度額250万円の予定
受け付け、問い合わせは、住宅金融公庫業務取扱店と表示した金融機関へ

積立て分譲住宅希望者募集

- 県住宅供給公社では、吉敷稲葉団地の分譲希望者を募集します。
募集戸数、面積 木造、プレハブ住宅10戸、建物面積70㎡~94㎡、宅地面積250㎡~280㎡
分譲予定価額 1,142~1,447万円
融資額 住宅金融公庫融資520~550万円(年利5.05%) 積立金補足融資300万円(年利6.3%)
住宅の引渡時期 昭和54年5月頃
申し込みは、10月16日から20日までに県住宅供給公社(電02876)へ

無料法律相談

- 山口地区弁護士会では、「法の日」週間行事の一つとして、次の通り無料法律相談を開きます。
日時 10月14日午前10時から12時
場所 山口地方裁判所内山口地区弁護士事務所(駅通り1丁目)

登記等無料相談

- 日時 10月7日午前9時から午後3時まで
場所 ちまきや百貨店2階
問い合わせは、山口市駅通り2丁目9-15山口県司法士会へ

Table with columns: 10月の休日当番医, 外系, 内科. Lists on-call doctors for various hospitals like 外河脳外科, 林外科, etc.

診療時間は8時30分から17時30分

歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時から15時